

津野町新本庁舎建設基本設計業務プロポーザル
審査結果報告書

1. 審査結果

津野町新本庁舎建設基本設計業務プロポーザル審査委員会にて、評価要領に基づき、厳正
に審査した結果、最優秀者及び次点者について、下記のとおり選定しましたので、報告しま
す。

- 【最優秀者】 東畑・艸建築設計企業体
【次点者】 梓設計・ASA 設計共同企業体

2. 審査委員

区分	所属等	氏名
審査委員長	武蔵野美術大学造形学部建築学科 教授	高橋 晶子
審査委員	高知工科大学システム工学群 講師	鈴木 卓
審査委員	高知県土木部建築課 課長	西本 準一
審査委員	高知県建設技術公社 参事	吉岡 隆一
審査委員	津野町副町長	岡崎 光明

3. 講評

本プロポーザルの審査は、参加者の事務所の実績・担当チームの能力を評価する一次審
査と、業務方針・課題に対する技術提案及び設計料見積額を評価する二次審査の二段階方
式で実施しました。一次審査は事務局で行い、総応募者 11 者から 5 者を選定しました。

二次審査については、学識経験者 2 名、専門技術者 2 名、津野町職員 1 名で構成する津
野町新本庁舎建設基本設計業務プロポーザル審査委員会が、提案書評価要領に基づき、一
次審査で選定された 5 者を対象に審査しました。業務方針である「基本コンセプト、業務
実施方針」「業務の取組体制、業務の工程、設計上の配慮事項」に加えて、課題テーマで
ある「事業スケジュールを踏まえた合理的な整備手法」「安全安心で町民が利用しやすく、
機能的・効率的な庁舎」「経済性に優れ、環境に配慮した庁舎」について 20 分のプレゼ
ンテーションと 15 分のヒアリングを行い、その的確性、独創性及び実現性について評価
を行いました。どの提案も本庁舎整備基本構想を十分理解し、津野町の地域特性、周辺環
境との調和、防災や環境共生等を考慮した、大変密度の高い内容でした。

5 者のプレゼンテーション終了後、一次審査の評価点および審査委員それぞれの評価
点をつまびらかにしたうえで協議を行い、最優秀者と次点者を合議により決定しました。

最優秀者の東畑・艸建築設計企業体は、計画案の独自性と機能性の両立、木材の使い方、

作業工程の解像度などが特に評価されました。

次点者の梓設計・ASA 設計共同企業体は、柔軟性の高い平面計画、多様な町民利用空間などが評価されました。

その他の3者の提案も、これまでの実績と技術を十分に発揮された提案でありました。

今後津野町と設計者の間で有意義な意見交換が重ねられ、皆に親しまれる新庁舎が整備されることを願っております。

最後に、本プロポーザルに貴重な時間を費やして真摯にご尽力をいただいた参加者のみなさまに対し、心から感謝申し上げます。

令和4年3月22日

津野町新本庁舎建設基本設計業務プロポーザル
審査委員長 高橋晶子